

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

今回の震災により県内では 2 万 4 千棟を超える住宅が失われ、発災から 1 年 4 か月近くが経った今でも、およそ 1 万 7 千世帯の方々が応急仮設住宅などの仮の住まいでの生活を余儀なくされています。

「復興」そして「ふるさと岩手・三陸の再建、再生」に向け一歩一歩進んでいる岩手の今を御紹介します。

【釜石市・災害復興公営住宅の着工式】

6 月 14 日、釜石市平田地区の旧釜石商業高校の敷地で、被災後県内初となる災害復興公営住宅の着工式が行われました。

当日は、津川復興大臣政務官や野田釜石市長などの来賓や達増知事が、安全を祈願し、鍬入れを行いました。



今後、敷地内の旧校舎を解体した後、住宅の建設に着手し、**来年（平成 25 年）の秋**には鉄筋コンクリート造り 7 階建て（計 126 戸）が**完成する予定**です。

災害復興公営住宅は、市町村とも連携しながら、県内で約 5,300 戸を整備していく予定です。

その第一弾となる今回の着工式は、津波で被災した三陸沿岸地域の住宅復興に向けて大きな一歩を踏み出すものです。

被災された方々が希望を持ってそれぞれの「ふるさと」に住み続けることができるよう、地域のまちづくりと一体となった住宅の供給に全力を挙げ、県の復興計画の柱の一つにある「暮らしの再建」の取り組みを進めていきます。

岩手県の被害状況（6 月 27 日現在）

- 人的被害 死者：4, 671 名
行方不明者：1, 216 名
- 建物被害(住家のみ、全半壊)：24, 877 棟

【看護の心をみんなの心に】

県内では、16,000 人の看護職員が医療機関や福祉施設で働いています。

ナイチンゲールが誕生した 5 月 12 日にちなみ、5 月 20 日に「看護の日」健康フェアが、盛岡で開催されました。



岩手県立大東病院総看護師長、小野寺富子さん。「震災の時、看護師としての役割の大きさを実感しました。患者さんの一番近くにおいて、身体だけでなく心まで見守り支える、そういう仕事ができることを誇りに思います。」

>>>詳しくは(バックナンバー) ... <http://goo.gl/ZHKcX>

県政番組「いわて希望の一步」
第 9 回～看護の心をみんなの心に～
(6 月 4、5、6、7、10 日放送)

皆様のご支援、ありがとうございます。

- ★義援金受付状況（5 月 31 日現在）
約 1 7 3 億 2, 7 0 4 万円 (79,597 件)
～ 市町村を通して被災者へ配分されます ～
- ★寄付金受付状況（5 月 31 日現在）
約 1 5 6 億 3, 3 0 6 万円 (5,246 件)
～ 県が行う復旧・復興の財源として使われます ～
- ★いわての学び希望基金受付状況（5 月 31 日現在）
約 4 4 億 4, 8 4 9 万円 (6,743 件)
～ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます～

>>>義援金・寄付金の募集
<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/jyouhou/volunteer.html>

【達増知事・首都圏企業へ震災支援への御礼】

6月6日、震災支援への御礼の気持ちを伝えるため、達増知事が首都圏企業を訪問しました。



(写真左)
ヤマトホールディングス

(写真下)
イオン(株)

数々の支援ありがとうございます。
その支援を力に、復興を力強く進めていきます。



【県立学校（高校・特別支援学校）を卒業した被災者に卒業証書を再発行します】

県教育委員会は、県立学校を卒業した被災者で、卒業証書を津波で失われた方が希望する場合に、卒業証書を無料で再発行しています。

【申請場所】：自身が卒業した各県立学校事務室

【申請期間】：～平成24年8月20日(月)

【必要書類】

- ・発行申請書（各県立学校に用意してあります）
- ・被災証明書の写し
- ・申請者本人を証明するもの
- ・（本人以外の場合）委任状又は続柄を証明するもの

◆問い合わせ先

（手続き）各県立高校、特別支援学校

（全般）県庁学校教育室 ☎ 019-629-6140

震災により思い出の品々を失われた方々の「心の支援」を行っていきます。

「お知らせ」 ◆「いわて復興ネット」でも本県の取り組みや復興状況について発信していますのでご覧ください

→ <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=39696&ik=0&pnp=14>

【平泉世界遺産登録から1年】

東日本大震災津波の直後にもたらされた、世界文化遺産への平泉登録、という明るい話題。この1年を振り返ってみたいと思います。



平成23年6月	世界遺産委員会で達増知事が、復興に立ち向かう力になるとスピーチ。「平泉の登録は、平泉の建設のもともとの理念に立ち返りながら、3月11日の惨禍からの復興という途方もない任務に現在直面している私たちに対し、大きな勇気を与えてくれるものです。」(抜粋)
平成23年7月	東北復興平泉宣言が発表され、3連休の平泉への観光客が、前年の約2倍、4万人に
平成23年10月	郵便局が県内限定で発売した切手シート「世界遺産・平泉」が即日完売
平成24年4月	フランス・パリ市の日本イベントで世界遺産平泉をアピール
平成24年5月	2年ぶりに開催された春の藤原まつりで、達増知事が藤原秀衡(ふじわらのひでひら)役を演じる ゴールデンウィークの平泉への人出が37万5千人、平成22年比で15%増 世界文化遺産平泉をあしらった地方自治法施行60周年記念千円銀貨(岩手県)が、世界造幣局長会議コイン・コンペティションでMost Beautiful Coin賞を受賞 岩手大学に平泉文化研究センター開設

引き続き、柳之御所遺跡などの拡大登録を目指す取り組みが続けられています。復興に歩む私たちに、平泉がますます力を与えてくれることでしょう。

現在開催・予定されている、世界遺産登録を記念、震災復興を祈念しての、中尊寺での行事

期間	行事・企画	場所
平成24年8月26日から9月30日まで	螺鈿平塵案・燈台、螺鈿八角須弥壇など、国宝漆工芸品の実物資料公開	讚衡蔵企画展示室
平成24年7月29日までの日曜日	貫首、僧侶による法話	本堂
平成24年7月17日から11月11日まで	重要文化財「一字金輪仏頂尊坐像」御開帳	讚衡蔵特別収蔵室



いわて復興だより 第23号 平成24年7月1日

発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6922

✉ AJ0001@pref.iwate.jp

◆復興だよりバックナンバーはこちらから

→ <http://bit.ly/qBFB0z>